

# 研究概要

## 1 学校研究の推進

### (1) 研究主題

「深い学び」を目指して組織的に取り組む授業づくり

～課題設定の工夫や関わり合う場の充実を通して～

### (2) 主題設定の理由

本校はこれまで、生徒主体の学び合いに重点を置き、芦中授業スタンダードに基づいた授業実践を行ってきた。また、生徒主体の学び合い活動に重点を置きながら、さらに一人一人の主体的・対話的で深い学びの追究に向けて、他者の意見を聴き合う中で、自己表現力を高める授業実践も継続してきた。その成果として、「学び合い活動の充実」「発表力の向上」「組織的な取組」の3点があげられる。

課題としては、「基礎学力の定着」「タブレット端末の効果的な活用」「集団づくりのさらなる充実」の3点である。これら3点の改善を意識しながら、今年度は授業の基盤となる学び合い活動を継続していく。さらに道徳教育を全教育活動の中心に捉え、学力向上研究と共に、道徳教育の実践的な取組を行っていく。地域の特色を生かした教材を活用したり、家庭や地域との連携を図ったりした道徳授業を推進することに加え、生徒自らが体験したことについて教材を通してその生き方や追体験をすることで道徳的価値の深化を図り、生徒たちの心の成長と道徳的実践力の涵養につなげていきたい。

以上を踏まえ、研究主題を『「深い学び」を目指して組織的に取り組む授業づくり』、副題を「課題設定の工夫や関わり合う場の充実を通して」とする。現在、学校教育現場に見られる課題は複雑化し、職員一人や分掌ひとつで解決できることは少ない。より良い解決策を生み出すためには、組織的に動きチーム力を発揮することが求められる。授業づくりにおいても同様で、教科部会や学年会などで組織的に対話を重ねることがより良い教材理解や生徒理解、指導方法につながり、「深い学び」の実現に近づくことができる。見通しをもって粘り強く取り組み、自分を振り返って次につなげる「主体的な学び」につなげるためには主に課題設定について重点を置いて取組を進めていくこととする。また、生徒同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」については関わり合いの場の充実を軸にして取組を進めていくこととする。

## 2 研究構想図

### < 教育目標 >

心豊かで学びにおかう「不撓不屈」の芦中生徒の育成

### < 目指す生徒像 >

なにごとにも

誠意をつくす 熱意をもってする 創意をこらす 善意をもってあたる  
「求めてやまぬ心」

- ・他者を尊重しながら、自分の言葉で伝え、相手の話を聞き、学びを深められる生徒
- ・様々なことに興味を持ち、何ができるかを考え、自ら主体的に行動する生徒
- ・心身ともに健やかで、思いやりのある温かな心の生徒

### 研究主題

『「深い学び」を目指して組織的に取り組む授業づくり』

～課題設定の工夫や関わり合う場の充実を通して～

### 【学びづくり部会】

#### 授業改善①

課題設定の工夫

(単元や題材のまとまりを意識して)

#### 授業改善②

発問の工夫

(ねらいから逆算して)

#### 授業改善③

他者の意見を聴き合い、思考を深める

(思考する場、表現する場の設定)

授業づくりプラン2023

芦中授業スタンダード

### 【集団づくり部会】

#### ① 居心地の良い集団づくり

関わり合う場の充実

自分の言葉で語り合う(帯タイム)

#### ② 道徳教育の推進

授業構想シート

心のテーマに即した活動

地域や家庭との連携

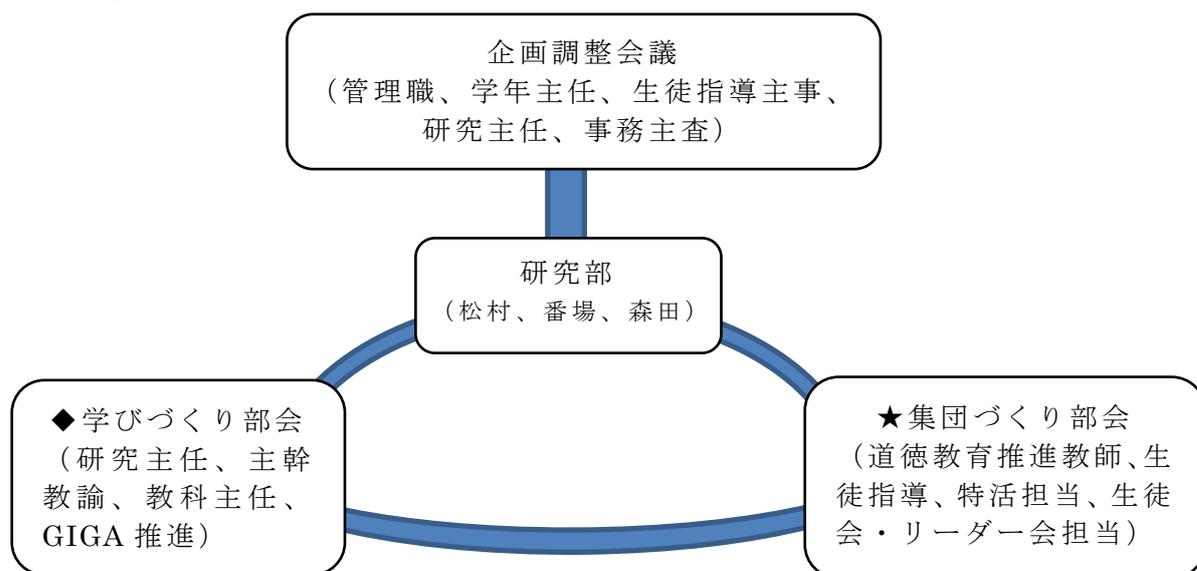
#### ③ 生徒会活動、学校行事の充実

自治能力の向上

縦割り活動の充実

芦城中STEP UP三ヶ条

### 3 研究組織



### 4 研究内容

#### (1) 学びづくり部会

##### ① 学びづくり部会の研究の方針

###### 授業改善と授業力の向上

- ・積極的な授業研究・公開授業を推進し、指導力の向上に努める。
- ・教科部会を定期的に行い、ねらい達成のための学習課題の工夫について共有を図る。
- ・様々な形で校内研修会を設け、積極的な授業改善に努める。

###### 家庭学習の習慣化

- ・終礼時に「あしのはノート」の記入を行う時間を設け、計画的に家庭学習に取り組む習慣を身につけさせる。
- ・各学年の学習担当と連携をとり、短期的に目標を持たせることで生徒の学力向上に向けた取組を行う。

##### ② 学びづくり部会の研究内容

- ・単元ごとのつけたい力の共有化と「授業づくり研究プラン」の更なる改善を図る。
- ・「芦中授業スタンダード」を共有し徹底する。
- ・授業設計を45分+5分で行うことで、まとめ・振り返りの時間を確保する。
- ・自分の考えを、根拠を明確にして表現する場を設定する。
- ・振り返りに「書く活動」を効果的に取り入れ、学びの自覚化を図る。
- ・互見授業WEEKを通して教職員同士での授業力向上を促進する。
- ・学校研究との関連や各教科共通の視点を盛り込んだ学習指導案を作成する。
- ・学力調査等の分析結果を基に、学習内容を改善し検証する。
- ・教科部会、学びづくり部会を定期的に行うことで授業力向上を図る。
- ・ICTを効果的に取り入れた授業展開の工夫と実践を行う。

## (2) 集団づくり部会

### ① 集団づくり部会の研究の方針

#### 道徳教育・特別活動の推進

- ・道徳部会を中心に道徳教育、特別活動の推進に努め、自己の生き方を考え、実社会を生きぬく力を養う。
- ・達成感や充実感を味わえる学校行事となるよう、教師と生徒がねらいを共有して行う。
- ・自らの考えを表現できる力を育む生徒会活動の充実を図る。
- ・多様な考えを持つ人や質の高いものに触れ、自己を高める機会とする。

#### 居心地の良い集団づくり

- ・集団づくりを通して互いを高め合える人間関係を築けるように努める。
- ・日頃の授業や係活動、清掃活動など学級の取組を定期的に振り返り、自分たちで集団を見直し、解決策を考え実行できる力を養う。

#### 生徒会活動・学校行事の充実

- ・学校行事や様々な学年での取組を通してリーダーを育てる機会をもつ。
- ・縦割りでのリーダー会や清掃活動など学年の枠を越えた活動を取り入れることで他学年とのつながりを育む。

### ② 集団づくり部会の研究内容

- ・学習規律や学びのルールの確立と徹底を図る。  
(生徒指導の実践上の視点を意識した授業実践と「芦中授業スタンダード」の推進)
- ・関係性を向上させる取組や生徒会活動を通して、自ら課題を発見し他者と協働的に解決に向かう力を育む能力を育成する。
- ・「芦城中 STEP UP 三ヶ条」を推進し、主体的に活躍する場を設定する。
- ・小中連携のさらなる推進をめざす。  
(模擬授業・学習指導案検討・授業づくりについての情報交流)
- ・実践の状況や成果を積極的に公開し、地域一体となって学力向上をめざす。

## 5 研究計画

4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆企画調整会議</li> <li>・校内研修会 → 研究方針、研究計画の提示</li> <li>・学年部会 → 学年経営方針</li> <li>・教科部会 → 教科の重点目標と「授業づくり研究プラン」等</li> <li>・学習集会 → 目指す授業像について全校で共通理解</li> </ul>
5 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆企画調整会議</li> <li>・研究授業 → 芦中スタンダードに基づく研究授業</li> <li>・合同教科部会 → 深い学びと目指す学校研究について</li> <li>・校内研修会 → 指導主事招聘（道徳の授業づくり） 構想シートを用いた授業案づくり</li> <li>・生徒アンケート</li> <li>■家庭学習の取組の指導・点検 → 中間テストに向けて</li> </ul>
6 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆企画調整会議</li> <li>・教科部会 → 中間テスト分析 期末テストでの評価と出題内容の検討</li> <li>■家庭学習の取組の指導・点検 → 期末テストに向けて</li> </ul>
7 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆企画調整会議</li> <li>・教科部会 → 期末テスト分析 1学期の取組のまとめ・振り返り 計画訪問 A に向けた指導案の検討</li> <li>・校内研修会 → 山田貞二准教授による示範授業 構想シートを用いた授業案づくり</li> </ul>
8 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修会 → 指導主事招聘、授業案検討（道徳）</li> <li>・計画訪問 B → A 訪問に向けて（模擬授業、指導案検討）</li> <li>・教科部会 → 指導案検討</li> <li>■学力向上対策【全国学力学習状況調査、県基礎学力調査の結果分析】</li> </ul>
9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆企画調整会議</li> <li>・学習集会 → 2学期の目指す授業像について全校で共通理解</li> <li>・教科部会 → 2学期中間テストに向けて（課題の共通理解）</li> <li>・計画訪問 A</li> </ul>
10 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆企画調整会議</li> <li>・生徒アンケート</li> <li>・教科部会 → 計画訪問 A を終えての振り返り</li> </ul>
11 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆企画調整会議</li> <li>・教科部会 → 期末テストでの評価と出題内容の検討</li> <li>・授業動画撮影（3年生、「いしかわ道徳教育推進事業」）</li> <li>■家庭学習の取組の指導・点検 → 期末テストに向けて</li> </ul>
12 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆企画調整会議</li> <li>・人権週間の取組</li> <li>・模擬授業（1年生）</li> <li>・校内研修会 → 研究授業（1年生、3年生） 山田准教授による講話</li> <li>・教科部会 → 期末テスト分析、3学期の授業づくりに向けて</li> <li>・生徒アンケート</li> </ul>

1 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 企画調会議</li> <li>・ 研究発表会</li> <li>・ 教科部会 → 3 学期の授業づくりの重点</li> </ul>
2 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 企画調整会議</li> <li>・ 校内研修会、教科部会 → 今年度の反省と次年度の取組について</li> <li>■ 家庭学習の取組の点検・指導 → 期末テストに向けて</li> </ul>
3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 企画調整会議</li> <li>・ 校内研修会 → 次年度の研究について</li> <li>・ 教科部会 → 次年度の授業づくりについて</li> </ul>